

## 第68回卒園式を実施！～しっかりとした態度で卒園証書を受け取った55名の園児が元気に巣立つ！～ <3/13>

3月13日(土)、本園遊戯室において「第68回卒園式」が実施されました今年度も、新型コロナウイルスへの対応として、「卒園式を一部簡略化して実施」することとなりました。また、出席者全員がマスクを着用したり、参加人数を制限したりする措置も行いました。保護者の皆様には、趣旨のご理解とご協力をいただき感謝しております。



午前10時に、進行役である教頭先生の「卒園児入場」という声が式場に響くと同時に、卒園児たちが入場しました。少し緊張した面持ちですが、入口できちんと一礼をして前を向いて

入場することができました。座席に着くと、列ごとに「礼」をして着席します。

開式のことばの後には、式のメインである「卒園証書授与」です。園児たちの緊張が高まり、表情も硬くなります。今年度は、式の簡略化ということもあり、組ごとに一列になり園長先生から証書を受け取りました。担任の先生から呼名されると、全員が大きな声で返事をするすることができました。証書も肘を伸ばしてしっかりと受け取ることができました。また、自席に戻るときも、胸を張りしっかりと足取りで歩くなど、とても堂々としていました。

次に、皆勤賞の表彰がありました。1年間または2年間休まず登園し続けた19名の園児が表彰を受けました(幼稚園で19名もいるなんて驚きですね)。名前を呼ばれると「ハイ」と元気よく返事をする事ができます。さすが「皆勤賞を受ける子どもたち」だと感心しました。

園長先生のお話の後に「在園児代表お祝いのことば」がありました。年中組の園児2名が「初めて幼稚園に入って、何も分からない私たちに、いろんなことを優しく教えてくださいました。一緒に楽しく遊んだことを決して忘れません。」などと、卒園児へ感謝やお礼のことばを堂々と述べる事ができました。練習の時以上に大きな声でしっかりと伝えることができ、「もうすぐ年長組になる。」という自覚をしっかりと見る事ができました。

次に、卒園児全員で「思い出のアルバム」を今までの中で一番元気に歌いました。子供達が過ごしてきた純粋な毎日に思いを馳せ、涙ぐむお母さん方の姿がとても印象的でした。



次は、「卒園児お別れのことば」です。4月から行ってきた様々な行事を振り返りながら、楽しかったことや頑張ったこと、大変だったことなどを卒園児一人ひとりが発表しました。「9月、幼稚園最後の運動会。走っては走ってちびっこリレー。力を合わせて組体操。一本橋も上手にできました。」「幼稚園バスで行ったお別れ遠足。ツインリンクもてぎに行きました。巨大ネット SUMIKA でも遊びました。」など「お別れのことば」の後、卒園児全員で「最近幼稚園などの卒園式でよく歌われている『ね』という曲」を歌いました。「ね おじいちゃんになってもね おばあちゃんになってもずっとずっといっしょにあったかくつきあってたいねね」というサビのところ大好きな子ども達。式場に響き渡る大きな声で歌い続けることができました。



最後に園児たちが一番お世話になった担任の先生に、各組代表者が花束を手渡しました。涙目で花束を手にする先生方の愛情の深さに感動しました。

閉式のことばの後、退場になりました。しかし、ただ退場するのではなく、卒園児一人ひとりが自分なりのメッセージを伝えてから退場するという趣向が凝らされています。「お母さん、毎日美味しい食事を作ってくれてありがとう。」「お父さん、お仕事頑張ってくれてありがとう。」「小学校に行ったら、算数を頑張るね。」など、親への感謝やこれからの抱負などをしっかりと伝えて退場することができました。(メッセージを伝えて退場するという工夫。素晴らしいと感じました。)



当日は卒業記念イベントとして「バルーンリリース」なども計画されていましたが、あいにく大雨のため実施できませんでした。しかし、「父母の会主催の謝恩会」が大盛り上がりだったので、子ども達にとっては「とても思い出に残る卒園式」になったようです。